

**日本神経摂食嚥下・栄養学会
法人(賛助)会員入会・広告掲載募集 趣意書**

日本神経摂食嚥下・栄養学会

代表理事 平野牧人

拝啓 関係各位

皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

本会は、厚生労働省精神・神経疾患研究委託費「神経疾患の予防・診断・治療に関する研究班」、2003年度からは「政策医療ネットワークを基盤にした神経変性疾患の総合的研究班」(ともに湯浅班)の班員による「摂食・嚥下障害勉強会」が原点であり、その後、厚生労働省 筋ジストロフィー研究班(川井班)の支援を得て、日本神経筋疾患摂食・嚥下・栄養研究会としてスタートしました。

2005年8月20日の第1回学術集会長崎大会より15回の学術集会を積み重ね、2019年の岐阜大会において、「日本神経摂食嚥下・栄養学会 (The Japan Society for Deglutition and Nutrition in NeuroMuscular Disorders : JSDNNM)」と改称することが会員総会で承認され、学会として新たなスタートを切りました。

本学会は 脳卒中・神経難病・筋疾患など、脳神経内科が関わるすべての疾患の摂食嚥下・栄養障害について、脳神経内科・耳鼻咽喉科・歯科・リハビリテーション科・消化器科・呼吸器科などの専門領域の医師と、管理栄養士・言語聴覚士・看護師・歯科衛生士・臨床心理士などの医療職、さらには倫理の専門家などの方々との連携を深めていく学術集団を目指しています。

脳神経内科領域では、ファーストタッチから終末期までの医療において、摂食嚥下・栄養障害についての対応が求められます。本学会では、基礎・臨床研究を推進する学術集団として、この医療に関わる関係者が、平素の経験を分かち合い、解決の糸口を見いだせる学会をめざしています。

本学会は「学術大会の開催(年1回)」、ホームページ上での「e-ジャーナルの発行(年1回)」「コラム掲載(月1回)」などの活動を行っております。

本学会の活動は会員の会費収入を基本に運営されており、本学会の趣旨にご賛同いただいた企業様にも法人(賛助)会員として学会活動にご支援いただきたく、ご入会をお願い申し上げます。また、広告掲載のみご希望の場合には、別紙の広告の申込用紙にございます料金をお支払いいただき、法人会員の特典の②を提供させていただきます。

・法人(賛助)会員の年会費は、一口5万円です。

(会計年度は、毎年10月1日から9月30日まで)

法人(賛助)会員としてご加入頂くと、下記の特典を受けることができます。

- ① e-ジャーナルのホームページ上での閲覧
- ② ホームページへの御社の広告バナーの掲載(掲載料無料)

画像【サイズ:縦60ピクセル、横240ピクセル ファイル形式:JPG、GIF、PNG】

テキスト【文字数70文字以内】

なお、本会では、日本製薬工業協会および日本ジェネリック製薬協会の「企業活動と医療機関の関係の透明性ガイドライン」、日本医療機器産業連合会の「医療機器業界における医療機関との透明性ガイドライン」に基づき、「協賛企業様と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、

学会等の協賛（医療関係者に対する自社医薬品や医学・薬学に関する情報等の提供）にかかる費用を公開することについて了承いたします。

法人（贊助）会員の皆様のご支援により、脳神経内科領域の摂食下・栄養障害に関する基礎・臨床研究を推進する学術集団として、一層努力する所存でございます。

本学会へのご入会をご検討いただけますと幸甚に存じます。

今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

年　　月　　日